

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年6月1日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4671300236号
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム 百合砂
所在地	鹿児島県西之表市西之表6095番地 (電話) 0997-22-1330
自己評価作成日	平成23年10月11日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との関わりを深める為、地域の諸行事等に積極的に参加し、より深い関わりを持ち、グループホームへの理解と認識を持って頂ける様取り組んでいます。また、入居者と職員が常に笑顔で過ごせる雰囲気作りに努め、ご家族とも普段から何でも話し合える関係作りに努めています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年3月18日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは種子島の美しい砂浜の海岸近くに位置し、和風の長屋をイメージして造られている。玄関には季節の花も飾られ、どこか懐かしさを感じる落ち着いた建物である。一部屋ひと部屋の入口に屋根があり、独立した家を演出している。キッチンが建物中央に位置し、常に人が集まって明るいぎやかな雰囲気になっている。職員と管理者の関係も良く、なんでも相談できる雰囲気である。職員と利用者のコミュニケーションも良好で、利用者からの要望で、理念に「元気で目指せ100歳」が追加採用された。また同系列のデイサービス施設も近くにある事から、近所の方や知人の訪問なども多く、一緒にお茶を飲んだりして継続的な交流が出来ている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を作り上げ、管理者・職員は理念を理解共有し、理念に基づいた支援が出来るよう努めています。	職員全員で話し合っって独自の理念を作っている。利用者の希望する文言も取り入れて、表現の見直しもなされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事と一緒に参加したり散歩の途中や百合砂市場でお会いした時等、声を掛け合っています。	地域の行事に積極的に参加している。地元のボランティアグループや幼稚園児の慰問を受け入れて、定期的に交流出来ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	見学の受入れを行い、認知症についての簡単なお話をさせていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回運営推進会議を行い、入居者の状態・運営の状況を報告し、情報や意見を頂き、サービスの向上に努めています。	2ヵ月に1回、定期的を開催し、行政や地域、家族の代表者らが参加している。入居者や事業所の様子を報告し、委員からはさまざまな提案や意見が出されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を年6回に増やし入居者の日常の生活状態を報告したり、アドバイスを頂いたりしています。又、市役所へ出かけた折、実状を話し意見を伺っています。	行政の担当者や地域包括支援センターと定期的に連絡を取り、意見やアドバイスをもらっている。介護保険の現状やボランティア制度についても情報交換している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日々の支援の中で、身体拘束とはどういうものを話し合い、身体拘束のないケアに努めています。法人内での研修資料を参考にホーム内研修を実施しています。	法人内での研修や、ホーム独自の委員会研修を実施し、全職員の“身体拘束をしないケア”の共有認識を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常的に虐待については、話題にし、防止に努めています。ホーム内研修会では、資料を渡し、話し合いの場を持っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会及びそれに関する資料により制度についての知識は得ています。制度利用者の弁護士や家族と連携をとっています。		

鹿児島県 グループホーム百合砂

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に詳しく説明し、同意を得ています。疑問のある場合はその都度納得するまで説明する旨お伝えしてあります。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段から何でも言える雰囲気作りに努め、面会の方、外部の方へも本音が言える環境作りに努めています。窓口に意見箱を設置し、日頃から面会時や交流会等で気軽に相談して頂けるよう話しています。</p>	<p>年2回程度、行事開催と同じ日に家族の会を実施して、職員との交流を深め、なんでも気軽に相談できる雰囲気作りに努めている。面会時や意見箱も要望を聞く機会の一つとして捉えている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会や日常のサポートの中で意見や提案は何時でも話せるようにしています。</p>	<p>資格取得への取り組みや各種研修会への参加など、職員の要望を聞き、反映させている。勤務体制や悩み、家族のことについても気軽に話し、相談できる雰囲気がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>隔月毎に提出される自己評価や個別面談を通じて状況を把握、意見の疎通と指導に努めています。</p>		

鹿児島県 グループホーム百合砂

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各種の研修会への参加、法人内での勉強会を実施しています。又、新人や他部署からの異動時には、同じ勤務帯で勤務指導しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列の施設やグループホームとの交流又は他グループホームの研修の受入れ等を通して情報交換をし、相互にサービスが向上するよう取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	意向等は日常生活の中でさりげなくお聞きするようになっています。本人の生活歴や健康状態については、本人や家族の同意のもと居宅のケアマネや主治医より情報を得ています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の相談時、ご家族と十分に話をし、求められる事や不安な事等お聞きしている。又、面会等や電話等で何時でも何でも相談出来る体制作りをしています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・ご家族との面談に十分時間をかけ、ニーズに対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者のペースで出来る事はやっただき、献立や下ごしらえ、味見等アドバイスを貰ったりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便りで入居者の状態・運営の状況を報告し情報や意見を頂いています。得に面会時や行事での交流時は会話を多くし、共に支え合う立場である事を自然体で理解し合えるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の受入れ、地域の行事への参加、ドライブ・外食・外泊・買い物・お墓参り等グループホーム以外の方との関わりが途切れる事がないように支援しています。	近所の方や知人の訪問なども多く、一緒にお茶を飲んだりして継続的な交流が来ている。地域行事への参加、墓参り、ドライブ、外食の支援もなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個性的な入居者が多いので、個性を尊重しながら、入居者同志がお互いを思いやれる雰囲気作り、環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	死亡による契約終了がありました。死亡時はスタッフ全員で弔問に出掛けています。他施設入所の方には、全員でドライブがてら弁当を持って面会に行き、状況を確認し、お会いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意向を尊重し、それに沿った生活が送れるように支援しています。困難な場合は、無理強いしないで、その時の心身の状況に合わせて検討し、支援しています。	日常の会話や生活歴から意向や希望をくみ取り、本人の望む生活が送れるよう支援している。困難な場合は本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様やご家族・担当ケアマネを通して生活歴や健康状態、利用状況等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの生活歴等や心身状態を確認し、その人の出来る事、したい事に応じ、無理のないよう有する力を発揮して、一日を過ごしていただいています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族・必要な関係者よりご意見を伺い、本人や家族の意向に沿った計画を作成しています。又、サービス担当者会議で検討し、意見やアイデアも反映させています。	利用者本人や家族から意見や希望を聞き、計画を作成している。またサービス担当者会議などで関係者の意見やアイデアを反映させて、現状に即した計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は、日々の生活や変化が把握出来るよう具体的に記録され、個別にファイルしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・外泊・通院・買い物・お墓参り・美容室等要望や状況に応じた多機能な対応をしています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議委員・民生委員・行政・消防署等にグループホームの事を理解していただき、協力していただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	総合病院が協力病院になっているので、いつも案心して適切な医療が受けられます。又、病状に応じた専門病院の受診も支援しています。	本人や家族が希望するかかりつけ医を大切にしているが、協力医が総合病院なので安心して受診している。専門医も往診なども含めて受診支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人の特別養護老人ホームが隣接しているため、施設の看護職員に相談し、健康管理に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、面会を多くし、安心して入院して頂けるよう配慮しています。早期退院に向けて病院関係者と連携を密にしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意向を伺い、医療関係者との連携の下、状態に即した対応を相談し、全員で方針の共有をしています。看取りについての指針や同意書も作成しています。	重度化した場合や終末期のあり方については、看取りについての指針や同意書を作成して備え付けている。本人、家族の意向を確認しつつ、医療関係者や職員全員で方針を共有して連携を取り合い、対応していくようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回、消防署の協力の下、全職員が応急手当や初期対応の訓練に参加しています。苑の看護師が身近な緊急事態への対応の研修も実施しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を実施し、非常時の避難に対応出来るようにしています。地域の会長さんをお願いして近隣への協力体制は出来ています。又、台風等非常事態が想定される場合は、長期保存可能な食品を準備しています。	定期的に避難訓練を実施している。台風などの災害時に備えて、食料や飲料水、カセットコンロなどの備蓄がある。また運営推進会議で地震・津波対策の話題も上がった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴を尊重し、言葉掛けや対応等に配慮し、誇りやプライバシーを損なう事のないよう心掛けています。ボランティアの方からは、情報の秘密保持に関する契約書を貰っています。	法人内での委員会や事業所内の勉強会を通じて、利用者の尊厳と権利を守り、プライバシーを損ねるようなことのないように取り組んでいる。言葉遣いや対応にも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方に合った聞き方や説明の仕方を職員間で共有し、入居者が希望の表出や自己決定ができるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づいて、一人一人が主役である事を念頭に置き、その人のペースで生活出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装は自分で選べる方には選んで頂き、支援が必要な方は一緒に選んだり助言しています。理美容については、馴染みのお店に行かれたり、美容師の方にも来て頂いたりしています。家族の方と行かれる方もいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや味見、盛り付け等を個々の力に応じて、して頂いています。下膳を自らされる方が4名います。	菜園で季節の野菜を栽培している。エビの殻むきや野菜の皮むきなどの下ごしらえ作業を利用者の能力に応じて一緒に取り組んでいる。利用者、職員ともに楽しく、おいしく食事をいただいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェックにより状態を把握しています。栄養のバランスについては野菜を多くし、栄養面を考慮しながら献立を工夫しています。年一回献立を苑の管理栄養士に見てもらっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後、就寝時に自分で可能な方には声掛けし、見守りにて口腔ケアを支援しています。その他の方には力に応じて口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導でトイレでの排泄ができるようにしています。便秘気味の方には、食材等工夫して、気持ちよく排泄できるようにしています。	夜間のポータブルトイレ使用の方やオムツ使用の方もいるが、排便管理表を使って排泄パターンを把握し、声掛けや誘導でトイレでの排泄ができるよう支援している。便秘気味の方には乳製品を食べるなど工夫している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や食材の工夫、水分等に留意し、出来るだけ自然排便に取り組んでいます。薬による排便を実施せざるを得ない方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルチェックを行い、安定している方には入浴の意向を伺いながらお誘いしています。気分が向かない方には時間や日にちをずらす等、無理強いせず、声掛けに工夫しています。	入浴日、時間帯などは利用者本人の体調と意向を優先して対応している。気分が向かない方にはタイミングを変えてみたり、声掛け方法を工夫している。夏場や散歩の後などはシャワー浴の対応もしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活パターンを大事にし意向を伺いながら、自由にお部屋で休養して頂いたり、ホールのソファで寛いだりしていただいています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用等については病院や薬局からの説明書で理解しています。いつでも見れるよう薬箱の横に置いています。病状の変化については日常的に観察しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の得意な事、出来る事、したい事をして頂く機会を作り楽しみや張り合いを持って生活されるよう支援しています。短歌に取り組んでいる方もいます。コーヒの好きな方には毎朝提供しています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩やドライブ、隣接している苑での慰問等、ご希望に沿った外出が出来るよう支援しています。ドライブ等は行きたい所を聞いたり、弁当持参で出掛けたりします。ご家族と食事に出掛ける方もいます。	季節の行事への参加や散歩、ドライブなど利用者の希望に合った外出支援をしている。隣接している苑への慰問交流や花見会など地域や家族と一体となった支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>事務所で管理し、それぞれの力に応じて買い物等必要な時に渡しています。又、ご自分でお小遣いを管理されている方もいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は希望時や必要な時には何時でも出来るようにしています。手紙については、年賀状等書ける方には自筆で書いて貰っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ソファの数を増やしたり、思い思いの場所でゆっくり寛いで貰っています。又、季節感を味わえる草花を飾ったり、飾り付け等工夫しています。音や光等にも心配りしています。</p>	<p>多くの利用者が自分が気に入った場所で、くつろいで過ごせるように、ソファの数を増やしたりして対応している。家族の方が毎月定期的に季節の花々を送ってくれている。室温や湿度調整にも配慮し、室内清掃は毎日、一緒にするように心がけている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った方同志、声掛け合ったり、落ち着かれる場所へ行って座ったり、お部屋で一人でテレビ観賞したり思い思いに過ごされています。</p>		

鹿児島県 グループホーム百合砂

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等持ってきて頂き、居心地良く過ごして頂けるよう工夫しています。	ベッド、寝具、テレビ、冷蔵庫など自宅で使い慣れたものを持ち込んで使用している。お菓子、食べ物も本人の自由で快適に過ごせるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能や力に応じ、ベッドの高さを調整したり、タンスの向きを変えたり工夫しています。又、トイレや浴室の手摺も使い勝手の悪い物は専門家と相談して取り替えています。		



**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない